◀能代市の須藤幸紀教育長へ贈呈

白神トピックス

管内の小学校へ教材を寄贈

金融共済部・経済部

ＪＡでは５月２日、くらしと農業の関わり、また米をはじめとした農畜産物の生産をテーマとした『農業とわたしたちのくらし』の教材本とＤＶＤを能代市教育委員会と藤里町教育委員会に贈呈しました。

教材の内容は小学校５年生児童を対象に作成され、生活を維持するために必要な「食」とこれを生み出す「農業」、「環境」と「農業」のかかわりなどについて写真やイラストを使ってわかりやすく説明しています。

この取り組みは平成20年度に始まり、今年で11回目を数えます。教材は今後、管内の小学校14校に配られ、社会科や総合的な学習の時間などで活用される予定となっています。

▲藤里町の浅利美津子教育長へ贈呈

目標達成に向け全職員で取り組む

共済課

平成30年度の共済事業進発式が４月26日、能代市で開かれ、ＬＡ（ライフアドバイザー）をはじめ、長期・短期共済担当者ら約40人が参加しました。

昨年度は12年ぶりに全共連推進目標を達成し、30年度も目標達成に向けて担当者は日々の業務に励んでいます。今年度は、事業基盤の維持拡大を図るため、ＪＡ共済既加入者への３Ｑ訪問活動の強化や地域に密着した効果的な推進活動を実践し、組合員や地域住民のライフサイクルに応じて変化する要望に応えていきます。ＪＡ共済についてわからないことがありましたら、お気軽にご相談ください。

▲意志の結集が図られました

▲各生産者ハウスの育苗管理を確認

健苗作りに向け巡回で管理指導

営農企画課

ＪＡでは水稲育苗の初期生育の確認や農家からの相談に応えるため、４月23日から５月２日までの７日間に渡って、管内３地区で苗代巡回を行いました。

ＪＡの営農指導員と山本地域振興局職員が、生産者と共に育苗ハウスを巡回して、床土や苗の状態、温度管理等について細かく確認、指導しました。巡回した営農指導員からは「苗は順調に生育しているが、向こう１ヶ月は気温が高く、日照時間は平年並みと予想されている。高温性の病害であるリゾーブス菌や細菌病等に注意し、栽培基準に基づいた適切な管理に努めてもらいたい」と呼び掛けました。